



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 日本コークス工業株式会社
 コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿毛 和哉

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 山下 伸一

TEL 03-5560-1311

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	80,230	30.0	2,230	2.5	1,881	70.2	4,214	194.3
29年3月期第3四半期	61,698	13.0	2,175	2.7	1,105	20.6	1,431	242.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,270百万円 (24.3%) 29年3月期第3四半期 2,631百万円 (437.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	13.97	
29年3月期第3四半期	4.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	115,533	46,431	40.2
29年3月期	115,758	43,764	37.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 46,431百万円 29年3月期 43,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	26.9	3,700	39.8	3,200	157.4	4,300	125.4	14.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	302,349,449 株	29年3月期	302,349,449 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	631,573 株	29年3月期	630,598 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	301,717,876 株	29年3月期3Q	301,719,314 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、先行きについては、中国などの海外経済の不確実性や、為替の変動影響に留意する必要があるなど、依然として見通せない状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期に比べコークス販売価格が上昇したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比185億3千1百万円増加の802億3千万円となりました。利益面では、コークス事業では原料炭価格下落に伴う割高在庫影響などがあったものの、化工機事業における利益率改善などにより、連結営業利益は、前年同期比5千4百万円増加の22億3千万円、連結経常利益は、為替差損益の好転などにより、前年同期比7億7千5百万円増加の18億8千1百万円となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前述の理由の他、投資有価証券売却益などにより、前年同期比27億8千2百万円増加の42億1千4百万円となりました。

(セグメントの概況)

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比170億3千8百万円増加の529億8千6百万円、営業利益は、前年同期比3億6千6百万円減少の6億3千2百万円となりました。

燃料販売事業につきましては、売上高は、前年同期比1億2千9百万円増加の162億3千2百万円、営業利益は、前年同期比1億4千2百万円減少の11億9千9百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比12億2千6百万円増加の78億6千5百万円、営業利益は、前年同期比4億4千5百万円増加の10億9千7百万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比1億3千7百万円増加の31億4千6百万円、営業利益は、前年同期比2億1千5百万円増加の4億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,155億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千4百万円減少となりました。増減の主なものは、現金及び預金の増加25億6千2百万円、商品及び製品の増加14億2千7百万円、原材料及び貯蔵品の減少16億8千7百万円、投資有価証券の減少15億1千7百万円、土地の減少5億5千9百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、691億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億9千1百万円減少となりました。増減の主なものは、流動負債「その他」の増加10億6千8百万円、長期借入金の減少31億3千3百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加などにより、26億6千6百万円増加の464億3千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想値は、前回(平成29年11月2日)公表いたしました業績予想から変更ありません。

また、配当につきましては、前回公表値を据え置きといたしますが、今後、業績動向を見極め、設備投資のために必要な内部留保を勘案した上で、株主の皆様への利益還元について検討していきたいと考えております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,517	7,079
受取手形及び売掛金	10,120	10,245
商品及び製品	9,684	11,112
仕掛品	897	1,155
原材料及び貯蔵品	11,652	9,965
その他	2,487	2,023
貸倒引当金	△18	△2
流動資産合計	39,342	41,579
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	81,885	85,675
減価償却累計額	△55,745	△59,569
機械装置及び運搬具(純額)	26,140	26,106
土地	35,922	35,362
その他	22,326	22,558
減価償却累計額	△14,687	△15,188
その他(純額)	7,639	7,369
有形固定資産合計	69,703	68,839
無形固定資産		
その他	532	506
無形固定資産合計	532	506
投資その他の資産		
その他	6,189	4,617
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	6,179	4,607
固定資産合計	76,415	73,953
資産合計	115,758	115,533

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,788	16,266
短期借入金	9,932	10,810
1年内償還予定の社債	14	14
未払法人税等	628	66
賞与引当金	666	351
関係会社整理損失引当金	387	351
受注損失引当金	76	3
事業整理損失引当金	45	28
その他	5,312	6,381
流動負債合計	33,851	34,274
固定負債		
社債	30	23
長期借入金	29,914	26,780
退職給付に係る負債	3,716	3,524
役員退職慰労引当金	58	52
環境対策引当金	3,196	3,195
事業整理損失引当金	99	84
その他	1,125	1,166
固定負債合計	38,141	34,827
負債合計	71,993	69,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	34,185	37,796
自己株式	△107	△107
株主資本合計	42,828	46,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,085	112
繰延ヘッジ損益	△85	△58
為替換算調整勘定	167	146
退職給付に係る調整累計額	△230	△209
その他の包括利益累計額合計	936	△7
純資産合計	43,764	46,431
負債純資産合計	115,758	115,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	61,698	80,230
売上原価	55,431	73,864
売上総利益	6,267	6,366
販売費及び一般管理費	4,091	4,135
営業利益	2,175	2,230
営業外収益		
為替差益	—	153
その他	141	256
営業外収益合計	141	409
営業外費用		
支払利息	379	331
環境対策引当金繰入額	151	165
その他	681	260
営業外費用合計	1,211	758
経常利益	1,105	1,881
特別利益		
投資有価証券売却益	316	3,553
その他	409	196
特別利益合計	725	3,749
特別損失		
固定資産除却損	346	587
その他	79	81
特別損失合計	425	668
税金等調整前四半期純利益	1,405	4,962
法人税、住民税及び事業税	97	322
法人税等調整額	△114	425
法人税等合計	△16	747
四半期純利益	1,422	4,214
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,431	4,214

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,422	4,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,103	△972
繰延ヘッジ損益	46	26
為替換算調整勘定	39	△20
退職給付に係る調整額	19	21
その他の包括利益合計	1,209	△944
四半期包括利益	2,631	3,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,641	3,270
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	35,947	16,102	6,639	58,689	3,009	61,698	—	61,698
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	686	686	198	885	△885	—
計	35,947	16,102	7,326	59,376	3,207	62,584	△885	61,698
セグメント利益	999	1,341	652	2,993	185	3,178	△1,003	2,175

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,003百万円は、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,010百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	52,986	16,232	7,865	77,084	3,146	80,230	—	80,230
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	21	600	621	221	842	△842	—
計	52,986	16,253	8,466	77,705	3,368	81,073	△842	80,230
セグメント利益	632	1,199	1,097	2,930	400	3,331	△1,100	2,230

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,100百万円は、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,115百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。